

私たちは誹謗中傷をしません

大鹿中学校の今年度の生徒会スローガンは、「思い合う」です。私たちはこれまで、LGBTQ、ハンセン病、満蒙開拓、高齢者、ごぜさん、部落差別、腑分け、食肉産業、視覚障がい者、SNSを使った差別事象など、様々な人権に関わる学習をしてきました。

1学期には、新型コロナウイルス感染症に関わる学習をしました。その中で、身近な場所にも差別や誹謗中傷があり、辛い思いをしている人たちがいることを知りました。また、歪んだ正義感から発せられた情報が、全く事実と異なるものになっていることもあると知り、正しい情報を見極めることの重要性を学びました。

私たちは、これ以上悲しい思いをする人を出さないために、差別をなくさなければいけません。差別を繰り返さないためには、相手の立場に立ち、相手がどんな状況なのか、相手が何を考えているのか、また相手がどんな気持ちなのかを考える事が大切だと考えています。

しかし私たち自身も、感染症に対する不安や恐れから誰かを差別してしまっていることがあるのではないかと思います。だからこそ、自分の中にある差別する心に気づき、弱い自分と闘っていくことが必要です。今私たちにできることは、差別や偏見を寄せ付けないワクチンを自分の心に打っておくことではないでしょうか。

そこで、誹謗中傷を受け、傷つく人を出さないように、お互いを思い合うことができるように、私たちは、誹謗中傷をしないことをここに宣言します。

- ① 誹謗中傷をしない。人を責める言葉を言わない。
- ② 感染者を責める人がいたら、「責めないで！誰でもかかる可能性があるものだから」と一言物申す。
- ③ 感染した人を責めることに力を入れるのではなく、予防に力を入れる。マスク着用やソーシャルディスタンスを取るなど、感染対策を続ける。
- ④ 感染した人、治った人、医療従事者に温かい言葉をかける。
- ⑤ 感染した人が一番辛い。感染した人をいたわり、その人の気持ちを考える。
- ⑥ 噂や個人情報を広めたり、それを SNS で発信したりしない。
- ⑦ SNS、ニュース、新聞などのメディアの本当かどうかわからない情報を鵜呑みにしない。拡散しない。
- ⑧ 自分のイライラや不安を鎮めるために、誰かを差別しない。
- ⑨ 自分の行動がどのような結果に繋がるか考え、もし間違った行動をとったと気づいたら、すぐに訂正する。
- ⑩ 私たちの考えを周りに広め、差別や偏見のない社会を目指す。

大鹿村をより安心して暮らせる村にするために

私たち大鹿中学校の生徒は、新型コロナウイルス感染症の影響で誹謗中傷を受けて傷ついている方が全国にたくさんいると知りました。そして、誹謗中傷をなくすためにはどうしたら良いかということ、これまでの学校での人権学習を通して考えました。

そこで、2つの活動をしています。

1つ目は、「私たちは誹謗中傷をしません」という宣言です。私たちの考えをまとめ、宣言にしました。ほかの市町村などにもこのような宣言を出しているところがありますが、それらと違うところは、自分たちにも差別をしてしまうかもしれない心があり、だからこそ その弱い心に打ち勝たなければならないという考えが含まれていることです。ぜひ読んでください。

2つ目は、シトラスリボンプロジェクトへの賛同です。皆さんはシトラスリボンプロジェクトをご存じですか？シトラスリボンプロジェクトは、愛媛県発祥のプロジェクトです。感染した方や医療従事者の方々が、それぞれの暮らしの場で「ただいま」「お帰り」といいあえるようなまちになることをなることを目指して始めました。シトラスリボンの3つの輪は、「地域」「家庭」「職場（または学校）」を表しています。

このシトラスリボンプロジェクトの「新型コロナウイルス感染症があってもなくても、皆が安心して暮らせるまちにしたい」という思いは、私たちの考えた宣言文と同じです。だから、大鹿中学校でもこのプロジェクトに賛同し、飯田市の水引を使ってシトラスリボンを作りました。シトラスリボンを身に着けて、あなたの「誹謗中

傷をしない」という意志を表しませんか？

大鹿村を「皆が安心して暮らせるまち」にするために、皆さんのご協力を

お願いします。



シトラスリボン

11月26日 大鹿中学校生徒会